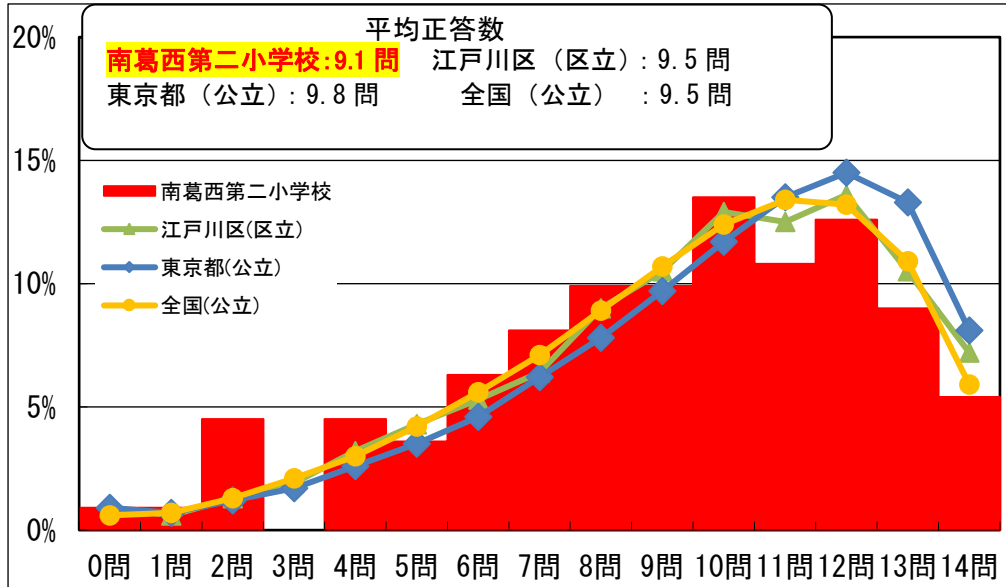


令和6年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【国語】南葛西第二小学校

正答数分布



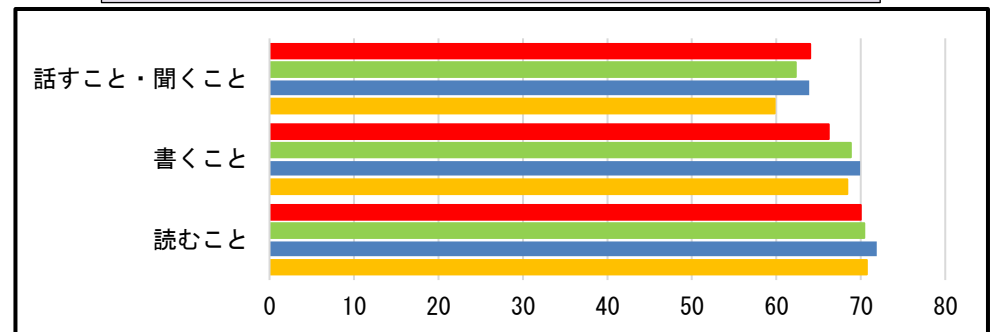
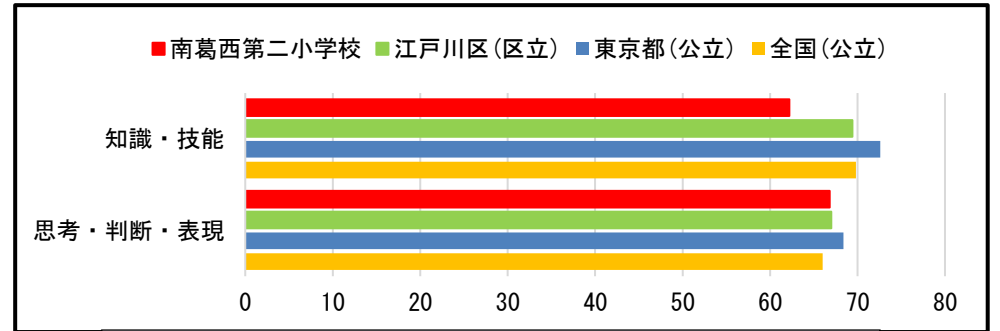
<四分位における割合(都全体の四分位による)>

上位 ← → 下位

国語	A層 12~14 問	B層 10~11 問	C層 8~9 問	D層 0~7 問
南葛西第二小学校	27.1	24.3	19.8	28.8
江戸川区(区立)	31.3	25.4	19.5	23.8
東京都(公立)	35.9	25.2	17.5	21.4
全国(公立)	30.0	25.8	19.6	24.6

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。上の表では、四分位によって児童をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。

「領域別」の結果



【平均正答率の差】

南葛西第二小学校	65%
江戸川区(区立)	68%
東京都(公立)	70%
全国(公立)	67.7%
都との差	5ポイント

%

【分析結果と授業改善に向けて】

記述式の無答率が、本校 11.7%、都 15.7%、全国 12.6%と、都よりも全国よりも低い。最後まで、あきらめずに答えようという意識が分かる。漢字の正答率が低い。過去2年も、正答率が一番低いのは、漢字を書く問題であった。次に、正答率が低いのは、主語を選択する問題である。漢字や主語、述語などの言葉の学習は、教科書単元だけでは、補いきれない。朝学習や家庭学習で、言葉の学習や学調の過去問を取り上げて定着を図りたい。